



Web予約システム



許諾番号:407021
愛媛県イメージアップ
キャラクターみきゃん

「他とは違う仕組みが詰まった」

住民健診を受診するには「電話で予約」「申込書を送付」「役所(役場)の窓口」で予約をすることが一般的でしたが、そこに新たな予約方法が増えました！

スマートフォンでいつでも予約ができる「Web予約システム」が、令和3年度から愛媛県内19市町(全20市町中)で運用がされています。このシステムは愛媛県総合保健協会の大規模事業として富士フィルムヘルスケア(旧日立製作所)と3年をかけて開発しました。愛媛県にご採用いただき、1年目2市町、2年目11市町、3年目19市町、そして今では県下全域20市町達成を予定するに至っております！
Web予約システムについて開発に携わった元木副部長にお話を伺いました。

Web予約システムとは、どのようなものですか？

「唯一無二のWeb予約システム」

セキュアな環境で個人情報を取り扱うことができ、簡単に国民健康保険加入者の特定健康診査の予約ができる仕組みです。さらに特定健康診査だけでなく、市町住民対象のがん検診の予約にも対応しています。
住民は簡単に健診の予約が可能となり、自治体はシステムで保険種別などを含めた予約者管理が行えるようになりました。
また、健診会場毎の予約総人数、時間帯予約や健診項目別の予約数の上限を適宜設けることができるので、コロナ禍では三密回避に「役立つ」ことができました。
同じような仕組みのWeb予約システムは存在していない、**唯一無二のもの**であり、県内統一した予約システムの運用は全国初となります。

開発の目的と経緯

「あきらめない気持ちと行動」

宿泊・交通機関、食事などの予約はスマホでのWeb予約が主流となっております。健康診断はと言いますと、本システムが導入されるまでは「電話」「申込書」「窓口申込」の予約方法がメインとなっており、明らかにデジタル社会の流れに遅れをとっている状況でした。
健康診断の分野でWeb予約が普及しない理由としては、以下の要因を推測しました。
①「保険種別」「年齢」「住んでいる市町」で受けられる健診項目が異なる点や、自治体における膨大な個人情報データの提供リスクによりシステム化するには非常に複雑かつ困難です。
②既存のWeb予約を導入するにも、予算捻出や開発人材の確保などの費用面で苦慮するところでした。

これらの課題を解決するために、富士フィルムヘルスケア(旧日立製作所)との共同開発に着手し**愛媛県から各自治体の運用費用を補助**していただく仕組みを築き上げました。
また、日立製作所が開発した「匿名バンク」という**特許技術とLG・WAN網で個人情報を保護**することが可能となり、住民情報をアップロードできることで「保険種別」「年齢」「住んでいる市町」の課題をクリアすることができました。この個人情報の壁をクリアするために、膨大な個人情報保護マニュアルの解説と打合せに多くの時間を割きました。個人情報の課題解決には、呉田経営戦略本部長の尽力と多くの関係者連携のものとあきらめない気持ちと一歩踏み出す行動があったからだと思います。
様々な課題のある中で開発できたことには、富士フィルムヘルスケア(旧日立製作所)をはじめとする関係者に感謝申し上げます。

本Web予約システム6つの強み

- ①匿名バンク「LG・WAN網」で個人情報保護されている点が最大の強みです。個人情報には、健診対象者・国保資格・後期高齢者の資格情報がアップロードされており、**1度のがん検診の受診を適切に管理することが可能**となります。
- ②また、**受診履歴をアップロード**することで、**重複受診防止**や2年以内の予約日の事前通知メールや予約履歴のある方へ**受診勧奨メール**の送信ができることも他社とは違う仕組みとなっております。
- ③「自治体」「健診機関」「コールセンター」で繋がっているため、リアルタイムに予約情報の管理を行えることも大きな強みです。
- ④健診機関側がシステムから**直接予約情報を取得**することができ、

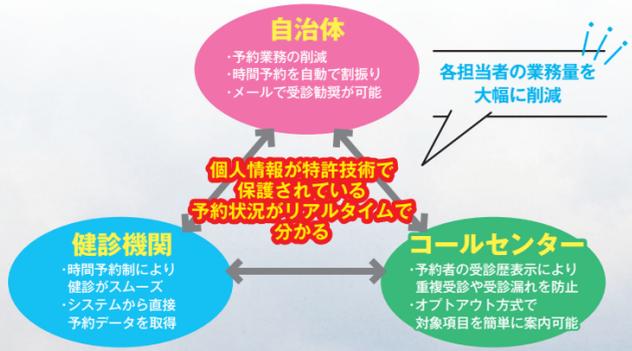
これまで健診予約情報は自治体側でデータ整形や媒体への処理などをしていただき、CD・RやUSBなどで受け渡しをしておりましたが、この作業が全くなくなりました。システム間の個人情報の管理なので、2022年6月に問題となった尼崎市でのUSB紛失事件の心配もありません。
⑥**時間帯予約が簡単に設定**できることも、特にコロナ禍において業務量削減に大きな効果がありました。システム管理ではなく、エクセルや手書きで時間帯予約の管理をすることになれば、複雑かつ膨大な処理が発生します。予約システムで健診機関側が設定することで、自治体の作業は大幅な削減になったと思っております。

Web予約システムの利用状況と今後の展望

スマホの普及率とともに退職後の受診につながる40代、50代の働く世代の受診者獲得が重要と考えます。
Web予約の、24時間いつでも予約できる簡単な利便性は、日中仕事をしている予約者やコールセンター就業時間外の早朝や夜間、週末の土曜日・日曜日の利用につながっています。
想定以上に60代以上のWeb予約率も高く、スマホ利用者が多いことや高齢者でも抵抗なく利用できる簡単さがあることが分かります。

最もWeb予約の利用が多かった自治体では、当初予約全体の15%を目標にしましたが、実際には初年度に25%まで達し、翌年には30%と毎年利用率も上がっています。
今年度は7月15日から始動する受診控え解消プロジェクトと合わせてWeb予約システムを活用いただくことで、身近に健診を受けられる機会の提供や受診率向上を啓発してまいります。

令和3年度愛媛県内19市町Web予約利用状況(基本健診、がん検診)



公益財団法人 愛媛県総合保健協会
経営戦略本部 兼 経営企画部
副部長 元木 伸也
●健康経営エキスパートアドバイザー
●第一種衛生管理者 ●MCI専門士

